

施策・主な取組シート

基本方向		(3) まちを支える人づくり	基本政策	4) 人権擁護・男女共同参画の推進	
(1) 施策					
名称		1 8 男女共同参画の推進			
目標		男女が互いに認め合い、共に活躍できる豊かで活力のある社会の実現をめざします。			
現状と課題		本市を取り巻く状況は、少子高齢化の進行、家族形態の変化、就労環境の変化、国際化の進展など、社会環境が変化する中、男女共同参画をめぐる課題も多様化しています。 また、依然として固定的な男女の役割分担意識も存在し、男女が平等になっているとは必ずしも実感できない状況です。 少子高齢化が進み、人口の減少社会に本格的に突入した中で、将来にわたり持続可能な社会を構築するためには、性別に関わりなくその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現が重要課題となっています。			
課題解決の方向性		「木更津市男女共同参画計画（第4次）」に基づき、男女共同参画の推進のため、固定的な男女の役割分担意識を解消し、一人ひとりの人権の尊重を基盤にした男女共同参画社会の形成のための教育・学習の一層の充実を図っていくことが重要です。 また、多様な考え方を活かした豊かで活力のある社会を築いていくために、あらゆる分野の政策・方針決定過程などで男女が共に責任をもって関わっていけるよう参画への取り組みを進めます。 各施策の推進にあたっては、継続的に施策の進捗状況の把握及び評価を行い、施策の効果的な推進が図られるよう適正な進行管理に努めます。			
(2) 主な取組					
No.1	名称	男女共同参画の意識づくり・条件づくり			
	担当課	企画課・職員課			
	概要	・学校、地域、家庭など、さまざまな場において、男女共同参画に関する教育・学習の充実に努めるとともに、固定的な男女の役割分担意識の解消に向けて、継続的な広報・啓発活動に取り組みます。 ・男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、共に責任を担う男女共同参画社会を形成するため、政策・方針決定過程への女性の参画を促進します。			
施策目標の実現に関する指標		指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
		男女共同参画フォーラムの参加者数	189人 (平成29年度実績)	210人	木更津市男女共同参画計画（第4次）の指標を参考に設定します。
		市が設置する審議会等の女性委員の割合	28.2% (平成29年度実績)	40%	全委員数のうち女性委員の割合を木更津市男女共同参画計画（第4次）の指標を参考に設定します。